

第96回〔2020年度〕日本選手権水泳競技大会〔アーティスティックスイミング〕および  
日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2020  
監督者会議 追加資料・Q&A

公益財団法人 日本水泳連盟  
競技委員長 鈴木 浩二  
A S 委員長 本間 三和子

■資料についての補足説明

- 1 本大会では、万が一、発熱等により出場できないメンバーがいた場合でも、残りのメンバーで正規の出場を可能とする。
- 2 1F会場図選手動線の変更：電光掲示板側を移動の際は白い幕の前を幕にそって移動する。  
(白い幕の裏側はNHK控え室)
- 3 7(8)①②の誤植訂正：健康管理表→健康チェック表
- 4 8(23) 飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。  
変更：飲みきれなかったドリンクは捨てずに持ち帰る。
- 5 9(3) 競技中は自分のクラブのみ撮影可とする。  
追加：競技中、2F指定のビデオ席では自分のクラブのみ撮影可とする。観客席クラブ席ではすべての競技を撮影可。
- 6 9(9) スポンサー提供飲料(ヤクルト)大会事務局へ取りに来ることとし  
変更：入口付近に設置した冷蔵庫から各自で取り出し、

■質疑応答

Q：メイクは観覧席で行う、ということですが演技直前のメイク直しは可能ですか？

A：最小限のメイク直しは認めます。マスク着用や密にならない等の対策をとり行ってください。

Q：出場種目終了後、会場で長時間待機が必要な場合は、シャワーの使用、ハットを外すなどしても良いですか？

A：コンディションの維持のため必要な場合のみ認めます。ハットは観客席クラブ席で外してください。

シャワー使用後は排水溝を清掃し、詰まった髪の毛・ゼラチンは除去してゴミ袋に入れ持ち帰ってください。  
ゼラチンはシャワーで流さず、持ち帰ってください。

Q：今回、清掃当番はありませんか？

A：更衣室は短時間、更衣のみの利用のため当番はありません。

以上